



しゃきょう 社協だより

2020年5月号 175号

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



5月5日～5月11日までは児童福祉週間です！

児童福祉週間は毎年5月5日の「こどもの日」から

1週間実施されます。

戦争が終結しこれからの未来を支える子どもたちの健やかな成長を祈り制定されました。この期間は児童福祉に対する理解や認識を深めるためにいろいろな催しがあります。なぜ5月5日なのかといえば、

「端午の節句」だからです。昔からこの日は子どもの成長と健康を家族でお祈りしました。三宅島でも湯舟のグラウンドに毎年沢山の大きな鯉のぼりが飾られますが、これもこどもたちの成長を祈り大空を泳いでもらうのです。

しかし残念ながら最近、子どもを取り巻く環境は児童虐待の増加や犯罪に巻き込まれるなど大きく変化しています。

悲しいニュースも多く本当に心を痛めます。

次世代を担う子どもたちが心豊かに、元気で明るく、

笑顔であそぶ社会は、私たちおとなに責任があります。今年の児童福祉週間の標語「やさしさに つつまれそだつ やさしいところ」はまさに大人たちのさやしきで、子どもたちをつつみこむことが優しい社会をつくるということです。コロナ禍の中ですべての人が大変厳しい生活を送っていますが、だからこそ子どもたちを優しいところで包んでください。



昨年度は令和に始まりコロナで終わった年度でした。

徳仁天皇の即位という祝賀で沸いた国中がコロナ禍で様々な自粛が要請され沈みかえってしまいました。

私ども社会福祉協議会としては、2つの大きな台風を始め自然の猛威が日本中に災害をもたらしたことがあげられます。社協のもう一つの顔であるボランティアセンターの役割が非常に注目を浴びました。日本中からたくさん

の方々がボランティアに参加下さいました。しかしながらあまりにも広範囲かつ甚大な被害をもたらした昨年の自

然災害は、復旧も長期化することも相まって、ボランティアの方々の分散、疲弊も課題として浮かび上がりました。

それでも、被災された方々のボランティアに対する数々の感謝の言葉に出会う度、社協職員として身が引き締まる

思いでした。ボランティア活動を広げ、支えたいという思いから、三宅高校・三宅中学校・三宅小学校とお話をし、

令和2年度の授業でボランティアに関する講座をさせていただくことになりました。(コロナの影響で開催は未定)

「これまで経験したことのないような」災害、「100年に一度の危機」といわれる感染症、様々な脅威にさらされ

ても、私たち人類は英知を集め乗り切らねばなりません。同時に、私たちの社会が、支え合う社会であること。その

支援を必要としている人に、周囲の人ができる範囲でできることを、行う。そんな地域づくりの大切さを実感した

1年でした。

令和2年度 三宅島社会福祉協議会事業方針

私たち社会福祉協議会に求められるのは「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの構築」です。三宅

島の自然のように多様性に富み、一人ひとりが笑顔で暮らす社会を、今まで以上に関係機関と連携・共同し共生

社会を目指してまいります。また、近年大規模な災害が多発する中で、災害時の支援ニーズへの対応が問われて

います。防災、減災の観点からも、地域の多様な担い手を育て、その連携を強めていくことが重要な課題です。こ

の観点からも、医療機関と連携してまいります。一人ひとりを支え合う地域力は災害時にも力を発揮することでし

よう。令和2年度は「ともに生きる豊かな社会」を目指し、実践してまいります。

令和2年度 重点目標(抜粋)

- あらゆる生活課題に関係機関と連携し、村民一人ひとりのニーズに寄り添った支援をしていきます。
- 介護保険による訪問看護事業を行います。関係機関との連絡調整に努め適切なサービスの提供を目指します。利用者が住み慣れた島で、その人らしく在宅で生活できるよう支援します。
- 今年度より、通院送迎サービスを三宅村の受託から社協の高齢者福祉事業の中で行い、サービスの内容をより充実したものにします。
- 福祉に関する啓発事業を実施し、住民の福祉への理解をすすめます。
- 三宅村及び東京都社会福祉協議会の進める社会福祉事業を受託し、責任をもって運営し、社会福祉法人としての信頼性と専門性の維持向上に努めていきます。
- 近年、過去の想定を超える自然災害や感染症といった新たな脅威に対し、三宅村はじめ各機関と協力して災害時等福祉支援活動に協力します。

令和2年度 三宅島社会福祉協議会予算

令和2年度の当初予算収支内訳は以下のとおりです。詳細な予算収支につきましては社協事務所に確認いただけます。

◆収入

◆支出

会費収入	500	地域福祉推進事業	52,479
寄付金収入	1,360		
補助金収入	22,632		
受託金収入	18,788	介護保険事業	19,475
事業収入	2,214		
介護保険事業収入	21,980		
障がい者福祉サービス等事業収入	8,301	たすけあい資金事業	50
その他の収入	11		
◆収入合計	75,786	◆支出合計	72,004

(単位:千円)

三宅島の皆さまへ

事務局長 齋藤 央

コロナウィルスは感染すると、2割の方が重篤化する怖いウィルスです。特に高齢者や持病があるかたは重篤化しやすいと言われています。コロナに対し私たちはどのような対策をとったら良いでしょうか。大切なのは家を出ない。「おうちにいる」ことです。このウィルスは接触感染と飛沫感染ですので、極端に言うと「人と接しない」ことです。但し、これだとコロナにはかからなくても、その他の大切な体の機能が衰えてしまいます。

そのため、心がけてほしいのが【運動】【栄養】【人とのつながり】の3つです。【運動】は血液の循環を良くし、筋肉を維持して強い身体をつくれます。天気の良い日におひとりで散歩することや、自宅内で足踏みなどお勧めします。【栄養】は筋肉をしっかりと維持するために重要です。たんぱく質やビタミンD(きくらげ、シイタケ、カツオ、サバなど)を摂ることに心掛けてください。【人とのつながり】は認知機能を維持するためにも必要です。会うことは避けてほしいのですが、電話やテレビ電話、手紙などを活用してみてください。

おしまいに、社会福祉協議会は個人の方に向けた「緊急小口貸付」の窓口となっています。コロナの影響で生活に必要な資金が不足する世帯に対し貸付を行います。この広報でも案内しておりますので、お困りの方は一度ご相談ください。

ちけん通信

Vol.13 生活が苦しいのですが…

Q.

毎日の暮らしに必要なお金の管理ができません。このままでは生活が苦しくなるばかりです。ちけんでもらえることはありますか？

地権担当のヤナガワです。ご相談ありがとうございます。地権事業では「家計簿作り」や「お金の使い道の計画づくり」や「役場や支庁といった相談窓口への同行」といったお手伝いも行っています・お話しいただける範囲でお金に関する不安についてご相談いただければ不安の解消に向けてサポートさせていただきます！
まずはお気軽にご相談ください！



そうだ！

社協の地権に

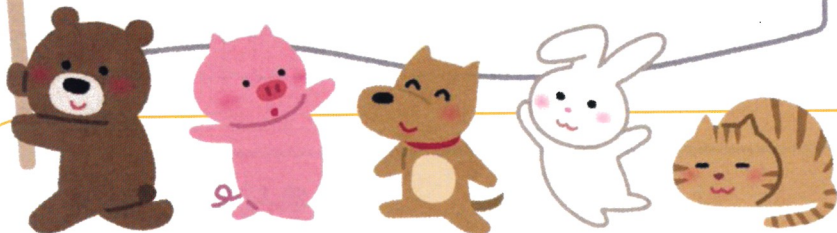
相談して

みよう！

「地権（ちけん）」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当：柳川（やながわ）【直通 8-5883】まで！

高齢者ふれあい会食会



高齢者ふれあい会食会は

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくお休みとさせていただきます。

感染予防をみんなでがんばりましょう！

福祉バザー中止のお知らせ

令和2年4月26日（日）に予定しておりました「福祉バザー」ですが、新型コロナウイルスの影響により中止とさせていただきます。福祉バザー開催については改めて検討していきたいと思っております。



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

5月のいぶき活動

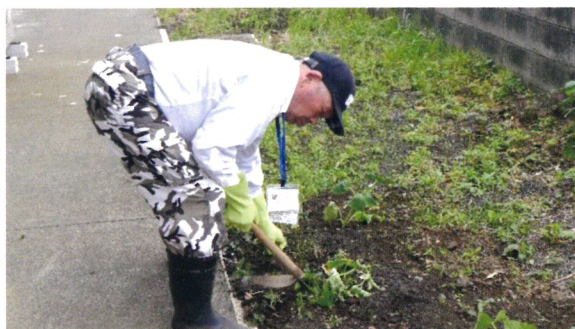
緑花活動 13・20・27日(全水曜日)

外出支援 14日(木)

※GW(5月4日・6日)はお休みとなります。



新年度が始まりました!!今年度の「いぶき」は利用者さん6名、スタッフ6名でスタートしました。ゆっくりと作業をしたり、屋外で緑花の活動に励んだり、一人ひとりのペースで過ごされています。時には暖かい陽気に誘われて、散歩やドライブも楽しんでいます。



←草とりの様子です。

現在ネモフィラとヒヤシンスが可憐な花を咲かせています。

ネモフィラの花言葉は“どこでも成功”

ヒヤシンスの花言葉は“控えめな愛らしさ”

“心静かな愛”です。



3月12日(木)「いけ吉」で食事しました。普段なかなか食べられないお寿司やちらし寿司を注文し、「おいしい!」と満足そうな表情で召し上がっていました。



年に数回、利用者さんがまごころを込めて作った創作品を販売しています。世界にひとつしかない作品をぜひ見に来てください。販売時期が決まりましたら、また改めてご案内いたします。



民生委員・児童委員って？どんな活動しているの？

こんな悩みはありませんか？

「ひとり暮らしでいろいろと不安」
 「子育てに自信がなくて、誰かに相談したい」
 「収入が減って生活が大変」

「介護が大変で…」
 「最近子どもの様子が気にかかる」
 「体が不自由なので、何かあった時が心配」



関係機関へつなぎ、連携します

相談内容に応じて、適切な関係機関を紹介し、橋渡しをします。関係機関と連絡しながら、あなたの悩みが解決できるよう支援します。

役所関係部署、子ども家庭支援センター、学校、

保健所、保育園、地域包括支援センター等

安全・安心な地域を目指します

関係機関・団体と協力しながら、誰もが住みよい地域を目指して活動しています。また、災害時に向けた取り組みも推進しています。

役所関係部署、自治会、社会福祉協議会、

警察署、消防等

= 5月12日は民生委員・児童委員の日です =

民生委員・児童委員は、あなたの住む地域にいます。守秘義務があります。

他人にあなたの悩みを漏らしません。安心してご相談ください。

ご相談はお近くの民生児童委員へ、お気軽にどうぞ！

【神着】

森下 久美子 Tel2-0988

【伊ヶ谷】

高松 英夫 Tel2-0383

長谷川利恵美 Tel2-1163

【坪田】

北村 友基 Tel8-5826

寺澤 百合子 Tel6-1007

【伊豆】

加藤 民子 Tel2-0228

山本 登美子 Tel2-0033

【阿古】

浅沼 多津子 IP5-5766

福本 有紀子 Tel080-8491-6067

【主任児童委員】

穴原 甲一郎 Tel2-1239

【三宅島民生児童委員協議会事務局】

東京都三宅支庁総務課内 電話 04994-2-1311



あなたも、民生児童委員として活躍してみませんか？

興味のある方、推薦したい方がいらっしゃいましたら、下記までお電話ください！

三宅村役場福祉健康課 Tel 5-0902

ちいき けいじばん 地域の掲示板

風のカフェ

(認知症等介護者のためのカフェ)

風のカフェではご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護を経験された方々のお越しをお待ちしています！また、介護を受けられているご家族の方も一緒にご参加いただけます！

4月の開催日についてはIP端末にてお知らせいたします。

問い合わせ 風の家 5-1470
役 場 5-0904

三宅島巨樹の会「やどり木」からのお知らせ 第1期(令和元年度)総会開催

4月26日(日) 14:30~文化会館和室

総会前 13:30~14:15 「オオシマザクラと日本の桜」

※新型コロナウイルスの件で日程変更します。4月5日観
察会は中止いたします。

三宅島の巨樹調査 3000本達成(2月23日)致しました。

貴重な情報、応援ありがとうございました！

問合せ 090-6875-5627 佐久間

坪田地区ビーチクリーンクラブ

~三池浜ビーチクリーンのご案内~

日 時 令和2年4月18日(土) 8:30~

集合場所 三池園地バス停前

主 催 坪田ビーチクリーンクラブ

※軍手・ごみ袋はクラブで用意致します！

※雨天の場合は中止となります！

社協だよりでは地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」としてお知らせするお手伝いをしています。掲載希望の方は社協(8-5888)までご連絡ください。

寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

井澤 鶴良さまより 亡父 庄一郎さまの香料より 組織運営事業のために

しゃきょうのちえぶくろ ~エイプリル Fool~

4月1日は「嘘をついてもいい日」のエイプリル Fool。その起源はさまざまな説があり、はっきり

りとはわかりません…世界共通の風習で、ユーモアあふれる嘘やいたずらを楽しむ日になっ

ています。でも、この日以外は嘘はだめですよー！

職員 紹介

海と地域の皆さんに惹かれ…

2月から入職した「山本 朱菜(やまもとあやな)」です。

私はスキューバダイビングに熱中し、色々な離島で潜っている中で三宅島と出会い、海と地域の皆さまの魅力にひかれて移住してきました。地域の皆さんとの出会いを楽しみ、島の文化や行事を大切にしながら日々、仕事に励みたいと思います。どうぞよろしく願います。



マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください。

第30回
浅沼正長さん
の物語

あの時から、オレは太鼓の「とりこ」だよ。

昭和25年6人兄弟の4番目として神着で生まれた浅沼正長さん69歳。

6人兄弟で唯一の男の子だったので周りからとにかく可愛がられた幼少期だった。

目立たないおとなしい男の子だったが、中学生の時に1,500m走の記録大会がありそれに向けてとにかく練習した。家から学校までの往復を走り込んだ。練習の甲斐あって1,500m走の記録大会で優勝した。この時に「人より何倍も努力すれば、心は強くなるんだ」と思ったという。19歳の時に先輩が太鼓を叩く姿を見て鳥肌が立ったほど感動した。観光客に見せるものが無いから太鼓を叩いてほしいと頼まれた。軽い気持ちで「いいよ」と返事をした。自分の太鼓を披露した時に太鼓を楽しんで叩いている自分に気が付いた。純粋に音を楽しんでいる自分に感動した。その太鼓を見て多くの人が

楽しんでいる事にも感動した。決して太鼓が上手なわけではなかった。だから、人より多くの努力が必要だと感じた。太鼓が上手に叩けなくても丁寧に叩いて練習を積み重ねていく事ととにかく太鼓を楽しみながら叩いていく事が大切だった。毎晩自宅のガラスに映る自分を見ながら練習した。かっこいいと思う人がいれば真似した。練習も楽しんだ。練習は自分にとってはいつでも本番だった。とにかく太鼓に夢中だった。太鼓を始めた時は天王祭を4、5人で最後まで叩き続けた。(現在の天王祭では10数人で叩いているそうです)神着郷土芸能保存会以外にも青年団やウィンドサーフィン、柔道、バレーボール、自分の興味のある事は何でも挑戦した。そして、自分が納得するまでやった。「とにかく何でも楽しみながらやったよ。でも、妻に苦労かけたかな。とにかく妻には感謝してるよ。」と語った。奥様の良江さんに正長さんはどんな方ですか?と尋ねると「夫は人を大切にするととても優しい人です。そして、とても努力家です。」と答えてくれた。2人のお話から浅沼さんご夫婦の愛情の深さが伝わってきた。神着郷土芸能保存会で現在、「伝承者：次の世代を担う人達に芸能保存を伝承していく者」という立場となり、「自分のできる事貢献していきたいと思ってるよ。」と話してくれた。これからの時代を担う人たちには「自分の好きなことはとにかく楽しみながらやり続けてほしい。」正長さんからそんなメッセージも頂きました。多くの人々を魅了する正長さんの太鼓について若い世代の方に「浅沼さんの太鼓のすごい所ってどこですか?」と聞いてみました。「正長さんみたいな太鼓の音を出せる人はいない。音が軽やかでまるで太鼓と遊んでいるのがわかる



神着在住の浅沼さん



イベントで太鼓を披露する浅沼さん

ような音。」「太鼓の先生と言えば正長さんです。太鼓を叩く姿がかっこいいのももちろんですが、優しい人柄があふれ出る太鼓の音、楽しくて誰もがのってしまう太鼓の音、これからも憧れの存在です！」正長さん、これからの時代を担う人たちに正長さんの「優しく楽しい音」届いていますよ。正長さんのお人柄だからこそ出せる音なんだとしみじみ思いました。楽しむことの大切さを教えてくれるマイストーリーでした！突然の取材にも快く受けて頂きありがとうございます。正長さんの丁寧に努力を積み重ねたマイストーリーと楽しい取材の時間ありがとうございました！これからも、正長さんの「音」多くの人に聞かせてください。楽しみにしていますね！機会があれば私にも聞かせてください。